CYDER
Cyber Defense Exercise with Recurrence

National Cyber Training Center

2026年版

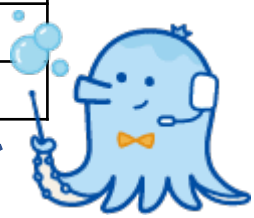
実践的サイバー防御演習

# CYDERのご案内

## ■CYDERとは？

国の研究機関である情報通信研究機構(NICT)が主催する、サイバーセキュリティに関わる事件(インシデント)が起きたときの組織的な初動対応について、実践的に学ぶ演習です。
全国各地で開催するレベル別の集合演習と、eラーニング形式の入門コースがあります。

| | | |
|---|---|---|
| Aコース | 集合演習 | 丁寧サポートの初級コース |
| Bコース | | 課題解決型の応用(中級)コース |
| Cコース | | 実戦さながらの準上級コース |
| プレCYDER | eラーニング | セキュリティ入門者向け独習コース |



プレCYDERは開講期間中ならいつでも受講可能！
Aコースの予習や復習にも最適です。

## ■CYDER（集合演習）の特長

実際に起きた事例を基にしたシナリオに、最大4人のチームで協力して取り組みます。
組織のネットワークを模した仮想環境で、疑似的に発生させたサイバー攻撃へのインシデント対応を体験することで、実践的なスキルを身に付けることができます。
定期的に新しいシナリオに取り組むことで、いざという時にさまざまなケースへ適切に対応できるようになります。

**事前学習**

オンライン形式で演習に必要な基礎知識の習得と確認を行う
(2-5時間程度)

＋

**演習当日** (A,Bコースは1日、Cコースは2日間)

検知・受付 → トリアージ 優先順位付け → インシデント レスポンス (対応) → 報告・公表 → 事後対応

インシデント(事件・事案)ハンドリングの一連の流れを体験的に学ぶ。
講師・チューターの支援のもと、チーム単位で実機を用いた調査や外部ベンダーとの調整、BCP含む事後対策の検討、全チームによる意見交換、ステークホルダー向けの報告書まとめなどを行う。

## ■プレCYDER（eラーニング）の特長

サイバー攻撃を受けた際のインシデント対応について、基礎の基礎から学べるコースです。
動画では、経験豊富な講師が、実際に起きた事例をもとに具体的にポイントを説明しており、スキマ時間の視聴で効率よく学習することができます。
毎年受講することで、知識のアップデートが可能です。

※一般職員向けの研修としてご活用いただいた組織も複数あります！

## ■2026年度北海道エリアスケジュール(予定)

＜集合演習Aコース＞

10/15(札幌)

⇒7/28から国・地方公共団体の申込受付開始予定

申込先：https://cyder.nict.go.jp/

＜プレCYDER＞

●ケーススタディ

1期：5/19～8/4「紛失USBメモリが招いた信用失墜編」
2期：9/1～11/13「閉域網神話の崩壊・甘い認識の代償編」
3期：11月中旬～1月頃（予定） ※コンテンツ調整中

●ドリル

1期：5/19～11/13「知～ドリル学習1 トリアージ編」
2期：11月中旬～1月頃（予定）※コンテンツ調整中

※予定は変更となる可能性がございます。詳細スケジュールはWebサイト(https://cyder.nict.go.jp/course/schedule/index.html) をご覧ください。

## ■受講費用

| 所属組織 | 対象コース | 費用（税込） |
|---|---|---|
| 国の機関等に所属の方 | 全コース | 無料※ |
| 地方公共団体に所属の方 | Aコース / プレCYDER | 無料 |
| | Bコース | 19,250円/人(1受講) |
| | Cコース | 38,500円/人(1受講) |
| 上記以外の法人・団体に所属の方 | Aコース /Bコース | 38,500円/人(1受講) |
| | Cコース | 77,000円/人(1受講) |
| | プレCYDER | 11,000円/人(1受講) |

※年度内に複数受講される場合は有料になることがあります。詳しくはWebサイト(https://cyder.nict.go.jp/course/index.html#course_fee) をご覧ください。

## ■受講者の声

初学者にも
わかりやすく
充実の内容でした

Aさん / 集合演習を受講

私は経験が浅く非常に心配していましたが、講義を終えた時には、インシデント発生から解決に至るまでの工程を具体的にイメージできるようになっていました。課題で行き詰まった時も、チューターが積極的に話しかけてヒントを出してくれたのでよかったです。

ひとり情シス
だからこそCYDERは
必要だと思います

Bさん / 集合演習を受講

情報システム課は自分ひとりですが、だからこそきちんとした知識を身に付ける必要があると思い、毎年集合演習を受講しています。知識があるからこそ、委託業者との連携もうまくいき、安心して不在にできます。

スキマ時間に
受講できて
助かりました

Cさん / プレCYDERを受講

業務都合に合わせて、毎日少しずつ受講できたのでとても便利でした。動画では、実際に起きた事件の真相に触れながらセキュリティの基礎についてわかりやすく説明しているので、理解が進みました。

＜お問合せ先＞
国立研究開発法人 情報通信研究機構（NICT）
ナショナルサイバートレーニングセンター　Tel:042-327-5612　E-mail:cyder@ml.nict.go.jp

CYDER